

5. 在学・卒業後の集まりなどの写真

在学中の写真や卒業後の同期仲間の集まりの写真を集めました
が、1950年代を最後に約半世紀の空白があります。この間、同
期の諸兄は職場・家庭が中心となり、「仲間の集まり」が少な
かったことも想像されます。

同期の諸兄のさらなるご協力を頂いて、この失われた半世紀の
記録を埋めて、「別冊」とすることも考えます。

なお、プリンターの機能上、写真の再現に制限があることはご了
承下さい。

写真に加えて、「行事の報告書」「同期会NEWS」も収録しまし
た。



1955年4月工学部校舎前



1955年5月横浜港にて



1956年工学部校舎内外で



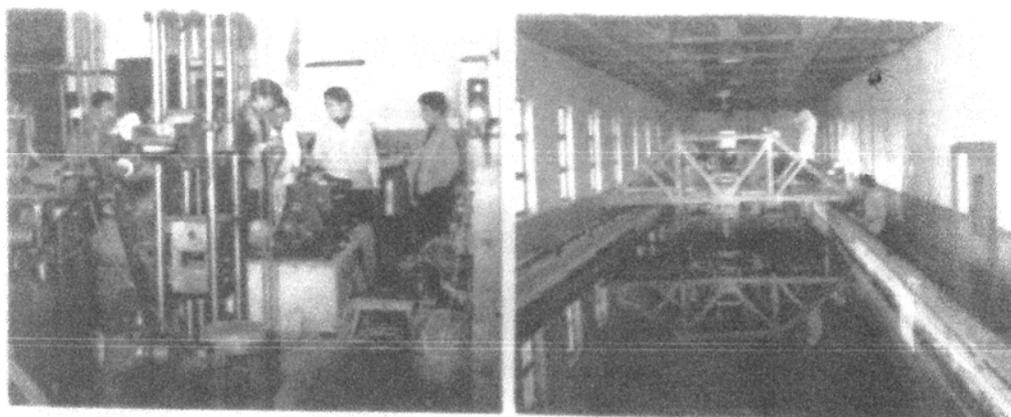
1956年1月工学部校舎外で



工学部正門玄関前（撮影年月不明）



試験水槽前で（1957年か？）



材料研究室・試験水槽・製図室（1957年か？）



1960年12月在京メンバーを中心とする忘年会のスナップ



忘年会（1990年代？）



1999年夏の懇親会 (ニュートキョー)



2000年忘年会 (ニュートキョー) 2000.12.20



2001年懇親会（場所不明） 2001.6.25



2002年忘年会（ニュートーキョー） 2002.12.18



日揮山中湖保養所で (2003.6.29)



河口湖ラベンダー (2003.6.30)



2003年懇親旅行 (忍野八海) (2003.6.29)



2003年懇親旅行 (日揮山中湖保養所) (2003.6.30)



2004年懇親旅行（三保の松原）（2004.6.27）（上・下2枚とも）





2004年懇親旅行（清水市の魚料理店で）（2004.6.28）



2004年忘年会（ニュートーキョー）2004.12.8（戸根木が参加）



2006年懇親旅行（熱川温泉）（2006.7.8）



2006年懇親旅行（伊豆・浄蓮の滝）（2006.6.8）



2007年忘年会（ニュートーキョー）2007.12.10



2008年懇親旅行（川重・八ヶ岳ピラ付近）2008.7.7



2008年懇親旅行(野辺山駅前にて) 2008.7.7



2008年懇親旅行(川重・ハヶ岳ビラ) (2008.7.7)



2008年懇親旅行（八ヶ岳ピラにて故沢田君を偲んで讚美歌を歌う）（2008.7.8）



2009年懇親旅行（八ヶ岳高原ヒュッテ前）（2009.7.7）



2009年懇親会（八ヶ岳高原美鈴池付近）2009.7.7



2010年忘年会（ニュートーキョー）2010.12.6



2011年忘年会 (ニュートーキョー) 2011.12.8



**2011年忘年会
建部の高笑い**



2012年懇親会 (川重・ハヶ岳ビル) 2012.9.28



2013年忘年会 (ニュートーキョー)



2013年懇親会 (川重・ハヶ岳ビラ) 21013.6.7



上の3枚の写真は2013年懇親会で「サクランボ農園」訪問のスナップ 2013.6.8



2014年観桜会（横浜港が見える丘公園付近）



2014年観桜会（横浜港が見える丘公園付近）



2014年観桜会の昼食後

2011年懇親旅行、2014年以降の行事は次葉以下の
報告書・同期会NEWSに纏めた。

2011年同期会秋季旅行寸描

2011年9月26日~27日



1. 26日 全員そろって夕食

左の列：手前から 杉本、
松野、浜田、上条、小田

右の列：手前から 吉識、
小林、柳田、建部



2. 談笑する吉識、杉本、松野。何を語るか？日本の未来か？孫の話か？越の寒梅か？聞病記？



3. こちらは、豪快・悠然たる建部、上条。話題はゴルフの成績か？

合計160歳ですよ。



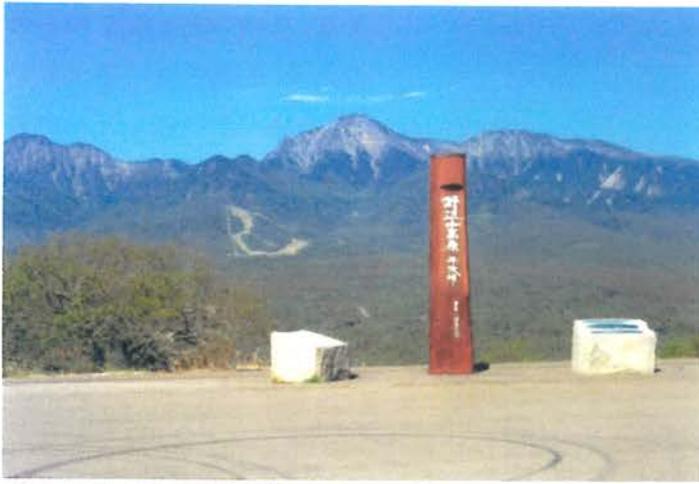
4. 27日早朝の杉本。車は、
宿舎の管理人のもので、彼の
ものではない。



5. 小田がパノラマ写真を撮
ると言いだして、
6時半に有志で獅子岩に行っ
たが、残念ながら、曇って居
た。中央高いのが八ヶ岳の主
峰の赤岳



6. 7時半を過ぎたころから
天気は急速に好転。宿から観
た赤岳。文字通り、朝日を受
けて赤い。



7. 小田のパノラマ写真に対する執念により、チェックアウト後、再度獅子岩へ。もっとも彼が先導車を運転して居るので・・・。

今度は快晴。小田のパノラマ写真にご期待を乞う。



なお左は案内図の写真です。

ここは太平洋側と日本海との分水嶺にあたる（下の写真）。



8. 建部の案内で南に下がって、「吐竜の滝」（「ドリユウ」だそうです）へ。

竜が滝を吐いたのか？滝が竜を吐いたのかは次ページの写真をご覧ください。「竜吐」と言うと Pump かな？

「大泉村」とあるが、町村合併前の看板か？目くじらを立てるほどの問題ではない。



9. 吐竜の滝の前での記念(?)撮影。杉本が撮影者で外れてしまった。



10. この写真は滝そのものの全景。建部の頭が写っている。台風の後としては水量が少ない？

「竜が水を吐いたような」滝でしょうね。



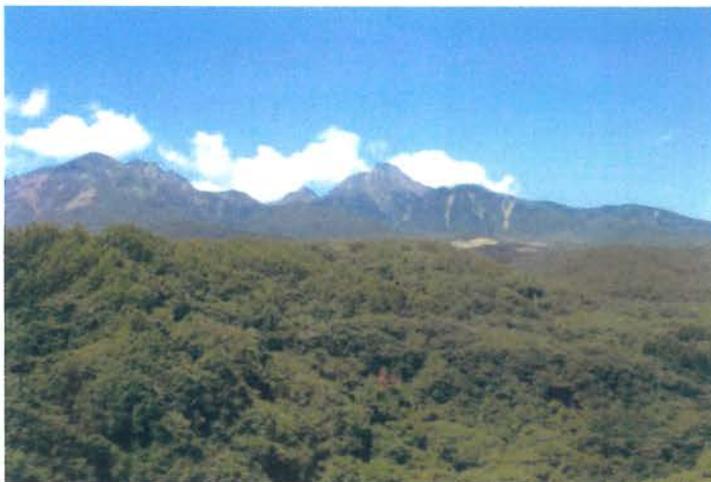
11. 次いで富士山と八ヶ岳の両方が見えるという、高原大橋へ。

まず富士山（かすかに見える）。

ぐらりと向きを変えて、八ヶ岳。一方の写真だけに橋の欄干が写って居るのは、上の写真は道路越しで、カメラは八ヶ岳側に居たわけです。

高原大橋は、黄色い橋と言われているようだが、橋の下部構造部分を黄色に塗ってあった。

高原大橋の詳細は「高原大橋」で検索下さい。但し北杜市の高原大橋です。





12. 高原大橋の上での記念(?)撮影二枚に分かれてしまって、スママセーン。(弁解ですが)歩道が狭いので、1枚に収めるためには、車道に出なければならず、これは命懸け。

あとで考えたら、カメラの操作で1枚に収めることができるのだ!

「あとで気が付く下衆の知恵」とはこのこと。

Anyhow 絶景でした。



13. 最後のコースは天女山。天女は居ないし、眺望も良くない。「周囲の樹を切らなきゃ!」は全員の意見。国立公園内は樹木一本切るにも「お上」に申請するのでしょうか?

「この石をここまでよく運んだなー」と工事屋さんは感心。現場で削ったのかな?



建部兄、案内有難うございました。小田兄、先導車の運転には特別に気を使ったでしょう。有難うございます。小林、松野両兄、運転お疲れさまでした。次の機会も宜しくお願い致します。

以上、文責 柳田

同期会NEWS

2014年6月12日

同期会26年宿泊懇親会を行いました

26年同期会宿泊懇親会を下記のように行いました。

日 程：2014年6月5日・6日

行 先：群馬県富岡市妙義 妙義グリーンホテルに宿泊

参加者：小田、上条、小林、杉本、建部、浜田、広瀬、藤井、松野、柳田、柳原、吉識

(敬称略・五十音順) 計 12名

状 況：6月5日夕方妙義グリーンホテルに集合

ホテルで会食(バイキング方式)後、別室で懇談。

なお、内6名の諸兄は前日から宿泊し、5日にゴルフをした。

6月6日はホテルをチェックアウト後、9名は、小林、藤井両兄の車に分乗して、世界遺産候補の旧富岡製糸場を見学。12時頃解散。

二日とも天候には恵まれなかったが、久しぶりに懇談することが出来た。

懇談での話題：(会に関連するもののみ)

- (1) 昨年の忘年会で、恒例の忘年会は横浜で行うことに決めているが、会員の高齢化に伴い「飲み食い」中心の忘年会ではなく、静かな「懇談中心」の会にして、午後(昼食を入れるか?)に行きたい。「安い」を第一目的にしない。今年は藤井兄のコネがある帝国ホテルも候補として、杉本兄(横浜中華街、ナビスコ等)と藤井兄が相談決定する。
- (2) 会員の不幸時には、同期会名義の供花などはしない。あくまで「個人」の弔問とする。これにより、話題になって居た「同期会ファン」は作らない。
- (3) 母校のHCD(Home Coming Day)には同期会としてまとまって行くことはしない。理由は混雑する、世代交代が進み知人が少ない等。
- (4) 春に横浜で「観桜会」を行ったが、今後このような小規模な「集まり」を計画する。
来春は湯河原の桜の名所で観桜し、日帰り温泉で入浴・会食等の話も出た。
- (5) 上条兄から、HCDに行かないと忘年会まで間が空くので何か

企画してほしい、ゴルフ組には会ったときに意見を聞いてみる、とのことでした。

- (6) 弘陵会の毎月のメールマガジンをメールが繋がらぬ方にコピーを作って送付するのは、効果・手間・費用の面で止めたい。メールが繋がらぬ方でメールマガジンを希望する方は、幹事まで申し出て頂きたい。因みにメールマガジンのコピーを作って郵送する費用（手間は別）は、約150円/人/月、約1,200円/月、年間約14,400円。費用対効果を考える必要があります。

幹事の所感：

- (1) 小林兄ご紹介のホテルは快適、温泉もあり、料理は種類が豊富で美味、費用も安い。バイキング方式の食事は高齢者に向いて居ます。まあ諸兄がビジネスで宿泊するようなマネジメント体制と違うのは、ローカルカラーと言うものでしょう。小林兄に感謝します。
- (2) 皆さんの酒量が激減しましたね。今後、旅行のご案内で「銘酒持参」を皆さんにお願いしなくても良いでしょう。
- (3) 来年の旅行も此処にして、車の数を増やし、観光の場所を変えれば、なお良いと感じました。来年は夕食後の懇談の場所を椅子席にするよう努力します。

写 真：杉本幹事が撮影した写真の縮刷版を添付します。印画紙のコピーをご希望の方は、杉本幹事に申し出て下さい。本紙をメールで受信される方には、ご希望があれば、データで送付します。

旅行幹事 杉本 良樹
柳田 圭一
(以上 文責 柳田圭一)

写真の説明：最初の4枚は、6月5日の夕食、6日の朝食の様様。次葉の上の左は夕食後に集まった時の写真（但し、終り近くなので、全員ではない）。それ以外は「旧富岡製糸場」でのスナップ。





同期会NEWS

2015年1月吉日

1. 見学会の報告

2014年10月10日(金)「海洋研究開発機構 横須賀本部」の見学会を行いました。
以下、概要を報告いたします。

行った所：横須賀市夏島町2-15 (私達が学生時代は海でした)

追浜駅からバス。

参加者：犬木、小林、杉本、藤井、松野、柳田、吉識 (敬称略・五十音順) 計 7名
海洋研究開発機構とは：

独立行政法人海洋研究開発機構 (Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology 略称 JAMSTEC) は、海洋研究開発及び関連する地球物理学研究開発のために設置された、文部科学省所管の独立行政法人の研究所です。日本最初の深海潜水艇の開発を始めとして、国際地球観測プロジェクト推進のための研究船などを開発し運用しています。また、長時間有人探査の難しい海溝探査を目的とした、無人探査機を開発運用し、スーパーコンピューターで、一時期世界一となった地球シミュレーターを運用するほか、大陸棚に存在するメタンハイドレート・海底熱水鉱床・石油・天然ガスなどの資源を探査しています。(以上、Wikipedia 海洋研究開発機構から引用)

写真：杉本幹事が撮影した写真の縮刷版を添付します。印画紙のコピーをご希望の方は杉本幹事に申し出て下さい。本紙をメールで受信される方には、ご希望があれば、データで送付します。(本項は次の忘年会の写真の話にも共通)



見学会前の昼食 (吉識、藤井、小林)



左に同じく (犬木、松野)



上に同じ (犬木、松野) 藤井撮影



上に同じ (杉本、柳田) 藤井撮影



しんかい2000 (現在は使われていない)



見学中のスナッフ



紙コップを使った水圧の大きさの説明



現役の深海6500の操舵室の模型の中で、
犬木兄ご満悦の様子



地球深部探査船「ちきゅう」の模型



集合写真 (前列左から 柳田・吉識・犬木
後列左から 藤井・小林・松野・杉本)

有人潜水調査船

「しんかい6500」

右の写真は見学資料のコピーです。スペースの都合上縮小して居ます。見学資料は幹事が持っていますので、ご希望の方には原寸のコピーを差し上げます。

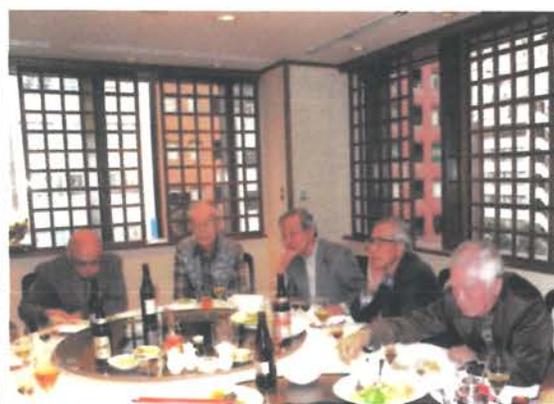


2. 26年度忘年会

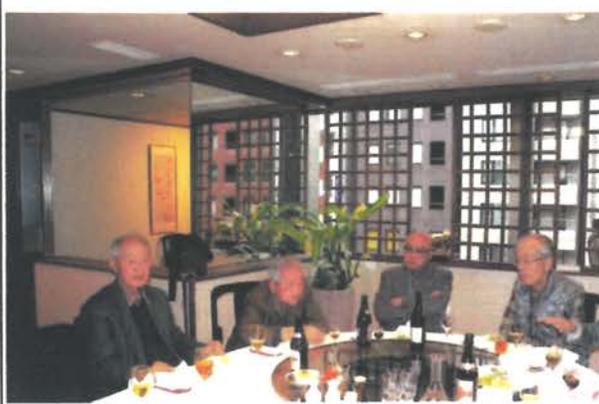
12月6日(木) 少し早目の忘年会を、今年は趣向を変えて、午後、東京の新橋駅近くの新橋亭(シンキョウテイ)で「中華料理で飲み放題」で行いました。

参加者：犬木、小田、上条、小林、杉本、建部、福井、藤井、松野、柳田、柳原、吉識(敬称略・五十音順) 計12名

写真：



左から、柳原、福井、吉識、犬木、松野



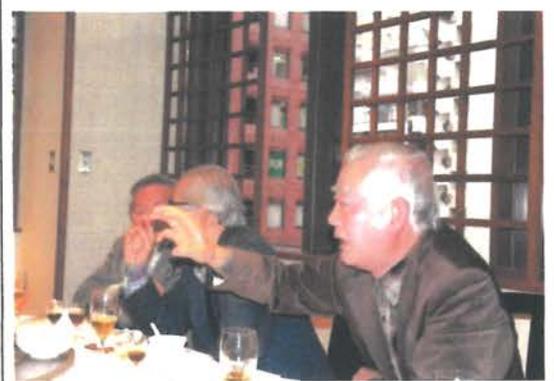
左から、小林、建部、柳原、福井



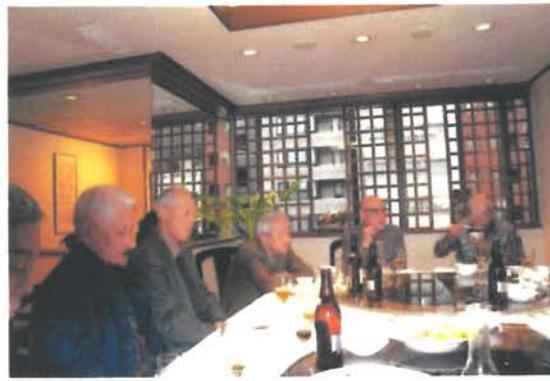
左から、犬木、松野、藤井、柳田



左から、柳田、杉本、上条



左から、吉識、犬木、松野



左から、小田、小林、建部、柳原、福井

参加者の評： 齢八十歳の爺さんには、「飲み放題」はなじまないところがあったようです。消費税が上がって、財布から出て行く金額が増えた感じがしますね。

平成26年10月3日

各位

海洋研究開発機構

広報部 広報課

見学について

拝啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、「JAMSTEC 個人見学ツアー」にお申込み頂き、誠にありがとうございます。

つきましては、下記のスケジュールに決定しましたのでお知らせ致します。

敬具

記

1、日時 平成26年10月10日(金) 13:30～15:00

2、場所 『海洋研究開発機構』神奈川県横須賀市夏島町2-15

【見学スケジュール】

| 時間 | 内容 | 場所 |
|-------------|---------------|----------|
| 13:30～13:45 | 挨拶・概要説明 | 本館1階大講義室 |
| 13:50～14:05 | 深海巡航探査機「うらしま」 | 潜水調査船整備場 |
| 14:10～14:25 | 高圧実験水槽・圧力実験 | 高圧実験水槽棟 |
| 14:30～14:45 | 展示ロビー(模型など) | 海洋科学技術館 |
| 14:50～15:00 | 質疑応答 | 本館1階大講義室 |

注意事項

・見学中は構内を巡回(約1時間程度)しますので、歩きやすい服装、露出の無い安全な靴でお越し下さい。
サンダルやハイヒール・ピンヒールなどの不安定な履物は、ご遠慮頂きますようご協力をお願いします。

・雨天が予想される際は、傘などの雨具をお持ちください。

・構内の撮影は一部を除き自由ですが、転倒防止のため、歩きながらの動画撮影はご遠慮下さい。

・別紙、路線バスのご案内をご覧いただき、黄色のマーカの付いたバスをご利用ください。乗り遅れてしまった場合は、●がついた場所にタクシー乗り場がございますのでタクシーをご利用下さい(1300円程度)

※到着が遅れた場合、途中からの見学ツアーのご参加はできませんのでご注意ください。

また、13:10発の路線バス以外でのご来所はご遠慮下さい。施設へのご入構は13:10発の路線バス到着時間に合わせてご案内致します。

※当日は福祉車両などを除き、構内駐車場はご利用頂けません。

・スケジュールは当日変更になる場合もございます。何卒ご了承頂きますようお願い申し上げます。

・キャンセルの場合は大変お手数ですが、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。



独立行政法人
海洋研究開発機構

広報部 広報課 見学担当

3. 諸兄の近況など

幹事が頂いた近況連絡、賀状などから諸兄の近況などを判る範囲で載せます（敬称略）。

| | |
|-----|---|
| 犬木 | ミシシッピ川を源流から河口まで昨年・一昨年と2回にわたり、走りました。走行距離約14,000km。アリゾナ州のアンテロープ溪谷にもよって来ました。 |
| 上原 | 天災の文字小さく、人災の声聞かぬ年にしたいものです。ご健勝をお祈り申し上げます。 |
| 江藤 | いつも同期会のお世話いただき有難うございます。忘年会は欠席といたします。同期会の諸兄に宜しくお伝えください。 |
| 小田 | お持ちのパソコン故障、スマホも繋がらず、幹事はアナログ連絡爺になりました。ご本人はお元気そうです（幹事記） |
| 上条 | 幹事ご苦労様です。今年も宜しく願います。 |
| 岸 | 楽しい会合の写真、有難うございました。現在の体調は良好な方です。ただ、出かけるとなると家内の体調も関係するので、来年のことを、今確約はできませんが、出かける方向で考えて居ます。 |
| 小林 | パソコンが壊れた！腰痛は相変わらず。高齢になるほど進行しそうです。 |
| 杉本 | 昨年は腰痛が悪化し、長年続けていたテニスを止めざるを得なくなり、替りに鍼灸治療に通っています。効果はあるような、ないような、まあしばらく続けるつもりです。 |
| 建部 | 小生相変わらず足がふらつきますが、体の方はいたって元気です。 |
| 津田 | 毎回欠席ばかりで申し訳ないと思っているのですが、身体は兎も角、幸い認知症にもならずclearなので、そのうちお目に掛かります。皆さんの御健康であらんことを、心から願っております。いつも有難うございました。 |
| 浜田 | 元気ですが、時々調子を崩します。今年も宜しく。 |
| 広瀬 | 小生80歳をすぎてから弱りの度合いが高まり、目、記憶力が弱まっているのを感じています。今年で戦後70年。よくもまあここまで生きて来たなあと思運の強さを感じ、そろそろ年貢の納め時かなと思っております。あと、1、2年くらいはもつかなとも思います。 |
| 福井 | いつもお世話になり有難う。本年もよろしく願います。 |
| 藤井 | 同期同好者の恒例ゴルフコンペに何とかお付き合いさせて頂いて居ますが、この齢になると少しずつ、足・腰、気になるところが出てくるようです。 |
| 松野 | 美しく清々しくそびえる富士山の如く、世界に冠たる真の独立国日本を築くために、憲法改正・教育再生を成し遂げるよう安倍総理に期待します。 |
| 真仁田 | 小生、本年傘寿を迎え居り、これを機に家内外並びに身辺整理を心掛けるも身心の動き伴わず遅々として進まずボチボチと云った状況にあります。諸兄によろしく。 |
| 柳田 | 主夫業、パソコンの指導、合唱団二つ、マンション管理組合理事長と暇なし生活。忘年会後、銀座で吉識兄と二次会をするほど元気です。 |
| 柳原 | 80歳にもなると体に何か抱えるような気がします。でも最後まで気の若さを保ちたいものです。新橋亭は甲斐？酒だけがモウケ。 |
| 吉識 | 花見・旅行でお会いしましょう。 |

4. 27年度の行事

(1) 観桜行事

27年春の観桜行事を次のように計画して居ます。

行先：湯河原町

コース：真鶴駅に集合し、そこから路線バス（一日に3本程度なので一寸無理か？）又はタクシー（あるいは柳田の車）で「ゆめ公園」に行き、観桜。ついで、タクシー（あるいは柳田の車）で「ゆとろ嵯峨沢の湯」に行き昼食、入浴、懇談。更に興味がある方は重光葵記念館、人間国宝美術館などの見学が可能です。徒歩の距離が長いので Option にします。「ゆとろ嵯峨沢の湯」から真鶴駅までの帰路は、この施設のマイクロバスを使う予定です。また真鶴駅から徒歩数分の真鶴城址公園のしだれ桜も有名ですが、公園内にかかなりの階段があるので、これも Option にします。

日程：4月上旬の平日としますが、木曜日は「ゆとろ嵯峨沢の湯」が休みですので避けます。



2014年4月2日の「ゆめ公園」の「しだれ桜」（柳田撮影）

解説：「ゆめ公園」は湯河原町の高台にあり、相模湾・伊豆七島の一部が一望できる地です。「観桜」と言うとは徒歩でソロソロ歩くと思われがちですが、この公園は桜の近くまで車で行け、且つ前述のように交通が不便なので、他の桜名所に比べると「閑散」と言えると思います。「ゆとろ嵯峨沢の湯」は「湯河原日帰り温泉」で検索ができます。「ゆめ公園」「ゆとろ嵯峨沢の湯」とも所在地の「吉浜」は柳田の住所と共通ですが、柳田の家から歩ける距離ではありません。昔、この付近は「吉浜村」でした。

実施日と費用の概算は後日ご連絡致します。

(2) 懇親宿泊旅行

行先：群馬県富岡市・高崎市

日程：2015年5月18日（月）ホテル集合、夕食後懇談、19日（火）高崎周辺を観光後解散

宿泊先：妙義グリーンホテル（洋個室 夕・朝食ともバイキング。1泊2食付で¥8,500程度）
19日の観光の行き先は、幹事が検討中です。帰路を考え、高崎周辺を考えて居ます。

以上 幹事 杉本・柳田
(作成担当 柳田)

2015年4月

同期会 各位

平成27年観桜会報告

以前から計画・ご連絡して居た表記観桜会を行いましたので、報告いたします。

実行日：平成27年4月3日

行先：湯河原町ゆめ公園等

参加者：杉本、松野、柳田（敬称略）

状況：（以下 文中すべて敬称略）

10時18分杉本、松野兩名が真鶴駅着。駅前に停めてあった柳田の車で小雨模様のなかを「ゆめ公園」に向かいました。約10分足らずで「ゆめ公園」に到着。



「さくら」越しに真鶴半島を望む



しだれ桜



松野（左）、杉本（右）



下に見えるはパークゴルフ場

左の写真
柳田（左）
杉本（右）



右の写真
柳田（左）
松野（右）



曇天で、伊豆七島を見ることは出来ませんでした。花見客はちらほらで、我々が「ゆめ公園」を借り切った形でした。とにかく、桜の本数は多く、満開ですが、観る人は少ない。「もっと来て、見てくれ！」と桜の呼ぶ声が聞こえるようでした。

約30分滞在の後、再び柳田の車約10分のShort Driveで「ゆとろ嵯峨沢の湯」に到着。

駐車場は空っぽで、「誰もいないぜ、今日は休みじゃないか？」と言う心配性。「いや昨夜電話で確認した」と幹事役。とにかくフロントでチェックイン。

まず入浴。客は我々3人のみ（上がる頃一人の客が来た）。露天風呂、湯滝を満喫し、洞窟の湯を覗きました。露天風呂はかなり高温。勿論、天然温泉です。

12時半、海の幸の昼食。と言っても食われる魚にとっては「幸」かな？



食事も飲物も三人三様。左から松野、柳田、杉本です。ここも我々が主役で、板前さんと横浜の話が出来るほどでした。もともと、板前兼配膳兼会計兼（我々のカメラマン）でした。

入浴でエネルギーを消費したのか、食事の量がやや少ない感じでしたが、ここで2時頃まで歓談。

次の行先は杉本の提案で「重光葵記念館」と決め、三度柳田の車で湯河原町の中心部を抜けて奥湯河原へ。杉本「今日は雨のせいか、車が少ないね」、

柳田「いや、今日はこれでも（車が）多いくらい」。とにかく道路はいつも閑散としています。「限界町」と言ったら怒られるかな？

二二六事件で有名な光風荘の前を通過して「重光葵記念館」に到着。



重光葵記念館の中のロビーでの撮影。

背景の写真は降伏文書調印のときの写真です。蛇足かも知れませんが、重光葵は降伏文書調印時の日本側全権です。

ここも貸切状態で、館内を見学し、ビデオを上映して頂きました。「限界町」でもこのような偉人の記念館があることは町民の誇りです。

下は入館券の裏に書かれている重光葵の言葉です。また次ページに重光葵記念館の案内書の表紙を載せました。

新人も旧人も、時世を恨みまたは罵ってはならぬ。
勇敢にこの新時代を開拓して、
日本民族の偉大なる将来を作り出さねばならぬ。

昭和21年1月5日記
重光 葵

まとめ：

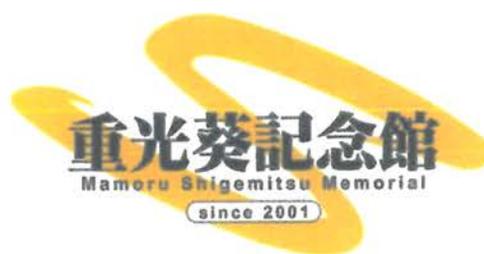
今回の観桜会は参加者が少なく、また天候に恵まれたとは言えませんでした。少人数の小旅行ながら、いやそれ故に面白いところもあったと思います。

今回の集まりを一言で言うなら「貸切の旅」。参加者はお疲れ様でした。

湯河原には他にも見るところが沢山ありますから、またお越しください。

なお、秋の行事について杉本から提案がありましたので、別途ご連絡致します。

以上
幹事 杉本、柳田
(文責 柳田)



私は、父が亡くなった年を過ぎる頃となり、父が外交官として歩んで来た道をたどってみた。

そこに父の生きざまをはっきりと見る事が出来た様な気がする。父のかかわった日中戦争、第二次世界大戦、終戦、日ソ交渉、国連加盟など我が国がたどった激動の20世紀の歴史を子供等に正確に伝えておく必要を感じた。

幸い歴史研究家で長年懇意にしている渡邊行男氏と話し合い、「終戦物語」、「東西の架け橋」、「日米開戦」と題する3本のビデオにこれをまとめて頂き、私の手元に保管しておいた父の遺品を展示するとともにビデオを公開することとした。

父は上海事変の際、爆弾によって負傷し、命はとりとめたが片足を失い、1933年外務次官として復歸し、以来20年間、この地に保養所を作り、傷の痛みをやわらげながら、外交官、外務大臣として政務に励むことが出来た。

私は、感謝をこめてこの地に記念館を建て、父を偲ぶこととした。

重光 篤



同期会 各位

平成27年宿泊懇親旅行報告

恒例の宿泊懇親旅行を行いましたので、報告いたします。例年並みに前日はゴルフ愛好者がゴルフを行う日程で行いました。

予報の時点での天気は我々にとっては喜ばしいものではありませんでしたが、18日夜の雨が新緑を洗ってくれ、19日は爽やかな五月晴れになりました。今年もホテルの予約では小林兄のお世話になりました。この場を借りてお礼致します。

実行日：平成27年5月18日・19日

行先：妙義グリーンホテル他

参加者：(敬称略、五十音順)

小田、上条、杉本、藤井、松野、柳田、柳原、吉識

他に小林が新潟に行く途中で17日の夜に同じホテルに泊まり、ゴルフ組に会って居ます。また浜田はゴルフを含めて参加予定でしたが、突然の体調不良で参加を取りやめ(その後の連絡で回復の様子)しました。

状況：18日5時半からホテルでバイキング形式の夕食、7時頃から柳田の部屋で有志が美酒を酌みながら懇談。秋の行事、忘年会等について話し合いをしました。

19日は朝食後9時半までにホテルを出て、有志で高崎市の少林山達磨寺に行き寺やブルーノタウト氏の足跡を拝観・見学しました。

ご参考まで、達磨寺の縁起とブルーノタウト氏関連の資料を下に並べます。何れも達磨寺の寺務所で頂いたパンフレットのコピーです。

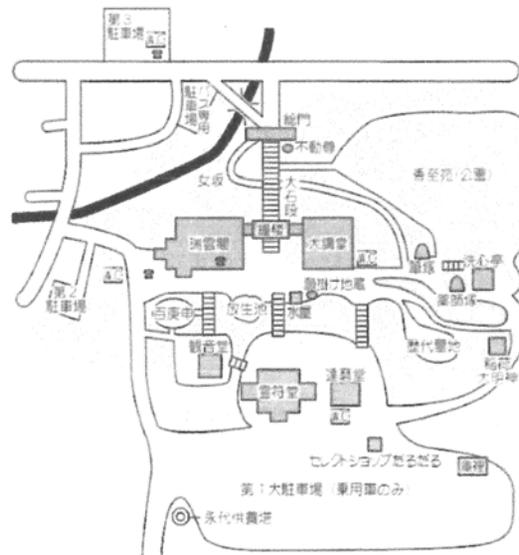
えん ぎ 縁 起

昔、碓氷川のはとりに観音様のお堂がありました。ある年、大洪水のあと川の中に光る物があるので、里人が不審に思っで見ますと香気のある古木でした。これを霊木としてお堂に納めておいたところ、延宝八年(1680)一了居士という行者が、信心を凝らして一月三礼、この霊木で達磨大師の坐禅像を彫刻してお堂にお祀りしました。まもなく、達磨大師の霊地少林山として知られると、元禄十年(1697)領主酒井雅楽頭は、この地に水戸光圀公の帰依された中国の掃化僧心越禪師を開山と仰ぎ、弟子の天嶽和尚を水戸から請じ、少林山達磨寺(曹洞宗寿昌派)を開創しました。

享保十一年(1726)水戸家から、三葉葵の紋と丸に水の徽章を賜い永世の祈願所とされました。

のち、隠元禪師を中興開山に仰ぎ、黄檗宗に改め、以来法灯連綿として今日に至ります。

[境内案内図]



せんしんてい
史蹟 洗心亭

ドイツの世界的建築家ブルーノ・タウト氏が昭和初期に居住された史蹟です。タウト氏は、ここで日本の文化をあらゆる面から研究し十数種の著述をなし、世界に紹介・発表して認識を広めた功績は実に偉大です。庭には、タウト氏の「私は日本の文化を愛する」とドイツ語で書かれた記念碑があります。



ブルーノ・タウト

ブルーノ・タウトは、日本の工芸やデザインからタモリス建築に多大なる影響を残した建築家で、住吉宮をはじめ、伊勢神宮、白川郷の合掌造り等の日本美を再発見し、世界にその伝統美を紹介したことも知られています。

また1920年代にタウトが設計したベルリンの近代集合住宅群4件が2008年ユネスコの世界遺産として登録されました。



ベルリンの集合住宅群

以下は今回の旅行の写真です（撮影・提供 杉本幹事。写真の説明中の敬称略）。編集の都合上、多少、明るさを変えたり、トリミングしたことはお許しください。



ホテルから眺めた妙義山



夕食時（左から小田、柳原、吉識）



夕食後の懇談

（左から藤井、松野、柳田、上条、小田、吉識）



夕食時、杉本（左）、藤井（右）



達磨寺靈符堂前 (左から、上条、松野、吉識、柳田、小田、藤井)



達磨寺内の観音堂



観音堂に登る階段前 (人物は 柳田)



寺務所の大達磨 (左 小田、右 上条)



靈符堂横 (人物は 上条)



鐘楼前 (左 柳田、右 吉識)



達磨寺の庭に咲く花3点 (杉本撮影)

◎ 不参加者の近況

この旅行実施に当たって、不参加者に「近況報告」をお願い致しましたが、以下に頂いた文（メール、ハガキ、FAX）の要点を転記してお知らせ致します。文中には個人の生活状況なども含まれて居ますので、取扱いにご注意頂き、不用意に公開されぬようお願い致します。（敬称略）

石井 勉

・体調悪く、参加できません。いつも不参加で済みません。糖尿病がよくない。

犬木 登

・欠席させていただきます。4月観桜会の折と同じですが、家内の怪我は週2回ほどのリハビリが夏ごろまでは必要なようで、家を空けられません。暮れの同窓会には出席致します。どうぞ皆様にはよろしくお伝え下さいます様お願いいたします。

江藤 隆之

・昨年10月から半年間続けていたNHK学園の「古文書解読コース」をヤットコサ終了、最終4回目のレポートを送ったところです。さながら暗号解読で目を酷使したので、4月下旬の眼科検診が心配（白内障と右目黄斑変性）。諸兄によろしく。

岸 泰男

・折角、企画されたご案内ですが出席できません。皆様に宜しくお伝え下さい。

小林 茂夫

・小学校中学校の傘寿の祝いを田舎で5月18日実施することになり、誠に恐縮ですが、皆さんと一緒に行けません。88歳米寿の祝いは到底無理です。今回がみんな（注：小中学校の同期生のこと）に会う最後なので、そちらに出席します。

腰痛は車は乗れます。医者は寝転んで仰向きになり、膝を抱え込んで、しばらくそのままを繰り返せと言って居ます。歩くのがきつい。息が切れる。心臓のせいなのかはっきりしない。心臓はまともでない。10%拡大しています。肥大ではない。脈拍40で20年間過ごしてきた。皆さんのように60拍と同等になるのに、ポンプ容量を上げたのです。体の仕組みはうまくできている。各器官に血液がいくようです。それでも不足でした。ペースメーカーを入れたら下着一枚違うと言うが、本当です。エネルギーが血液で運搬されるのでしよう。ゴルフ組は藤井君に依頼。

建部 信彦

・小生足がふらつきますが体は元気です。忘年会には出るつもりです。では精々楽しんで下され！

津田 真也

・いつもお世話になります。頭記旅行参加いたしません。まだ惚けてはいないようですので、そのほうは心配しておりませんが、正月にけがをして、いまだに日赤に定期的に通っております（転倒、脳震盪による硬膜下血腫を抜いたので、その後の再発を警戒して検査に通っているもので、このまま治療すれば全快です。再発率10%くらいとの事で脳外科医の皆さんのお世話にな

っております。本人はいとも元気しておりますのでどうか御心配なく。今度の検査は4月20日です)。

広瀬 健夫

このところ、ときどきフラフラすることがあり、脳梗塞の初期症状で、脳の血流がなんらかの理由で低下している可能性があり、遠出するのはチトしんどいので不参加と致します。人間80年も生きるとあちこちの器官がいたんできます。失うことによって何かを得て居ればよいのですが。人間の生についてふりかえっているところです。トシなんでしょう。

真仁田 恒治

毎度同期会の案内お手数おかけしています。ついては小生、貴兄への返信、年と共に忘却のケース多々これあり、加えて同会への参加の可能性これまで同様皆無に等しく、心苦しく思い居ります。依って今後当方へのご連絡などの配慮御放念下され度くお願い申しあげます。

◎ 秋の見学会、27年忘年会など

18日夜、夕食後の懇親会で杉本幹事から表記について次のような説明がありました。

・秋の見学会

行先 : 横浜市日吉の慶応大学敷地内の連合艦隊司令部地下壕跡

日時 : 2015年10月24日(土) 午後

11時頃東横線日吉駅に集合の予定

主催者: 日吉台地下壕保存の会

主催者が行う見学会に参加するべく、8名申込み済みですが、詳細は追って連絡します。

・27年忘年会

杉本幹事が場所を探していますが、「飲み放題・食い放題」は避けて、交通便利な東京で、静かな雰囲気懇談できるところを希望するとの意見が多数でした。

日時・場所が決まり次第連絡致します。

・その他

柳田幹事から、弘陵造船航空会から毎月送られているメルマガジン(以下メルマガ)はメールが繋がる諸兄には杉本幹事がメールで転送し、メールが繋がらぬ諸兄には柳田幹事がコピーしてFAXまたは郵送で送ったこともあったが、次の理由で、FAXまたは郵送で送るのを止めたいとの説明があり、了承されました。

1. 費用対効果(メルマガの郵送の費用は約100円/月/人、さらにコピー、郵送の手間も掛かるが、その割に効果が少ないようで、反応が無い)

2. 郵送・FAXしてもコピーではメルマガからのリンクは出来ない。

3. 27年度幹事会で、他の年度のクラス幹事に聞いたところ、メルマガをFAX・郵送などで再配布している幹事は一人も居なかった。

メルマガのコピーが欲しい方は個別に柳田幹事に申し出て頂きます。

◎ その他のお知らせ

5月23日(土)母校のキャンパスで、弘陵造船航空会の年次総会・交流会が行われ、浜田兄と柳田幹事が出席しました。

◎ 幹事のつぶやき

最近、思う言葉ですが、「賢者は賢者を知り、愚者は愚者のみを知る」と言います。

何を見ても聞いても、それを心の糧にして生きることが必要ではないでしょうか？縁有って、有意義な仕事に励み、一家言を有し、悔いなき人生をと願う友人を得て、共に酒を酌み、彼らの言葉に耳を傾けることが出来るのは80歳を超した男にとって至福の極みと言えるでしょう。

以上 幹事 杉本・柳田 (文責 柳田)

同期会 各位

平成27年見学会報告

以前から計画・ご連絡して居た日吉台地下壕の見学会を行いましたので、報告いたします。

実行日：平成27年10月24日

行先：横浜市港北区日吉台地下壕（慶應義塾大学構内）

参加者：犬木、杉本、松野、吉識、柳田（以下を含め 敬称略）

状況説明・報告：

（1）日吉台地下壕とは

1944年（昭和19年）3月、すでに太平洋戦争での日本の敗色が濃厚な時に、軍令部（海軍の国防用兵をつかさどる組織。天皇に直結）第三部（情報担当）が日吉の慶應義塾の第一校舎に移転してきました。その後7月にサイパン島が陥落した1週間後に軍令部の待避壕が掘り始められました。さらに、8月15日には連合艦隊司令部等が入る地下壕（総延長2,600m）の建設が超特急工事で始まり、9月29日には連合艦隊司令部が旗艦「大淀」から、同じ慶應義塾大学の学生寄宿舍に入ることにより、日本海軍の中樞は陸に上がり、ここから特攻作戦の指示が出されました。

1945年4月、艦隊の殆どを失った海軍はここ日吉にほぼすべての海軍部隊を統括する海軍総隊司令部を置いて、本土決戦に備える準備をしました。

1945年8月15日に終戦によりすべては終わりましたが、当時司令部に居た人数は約1,000人と言われます。

下に日吉台地下壕の配置図を示します（見学当日配布された「戦争遺跡を歩く 日吉（日吉台地下壕保存の会）」の一部の複製です）。

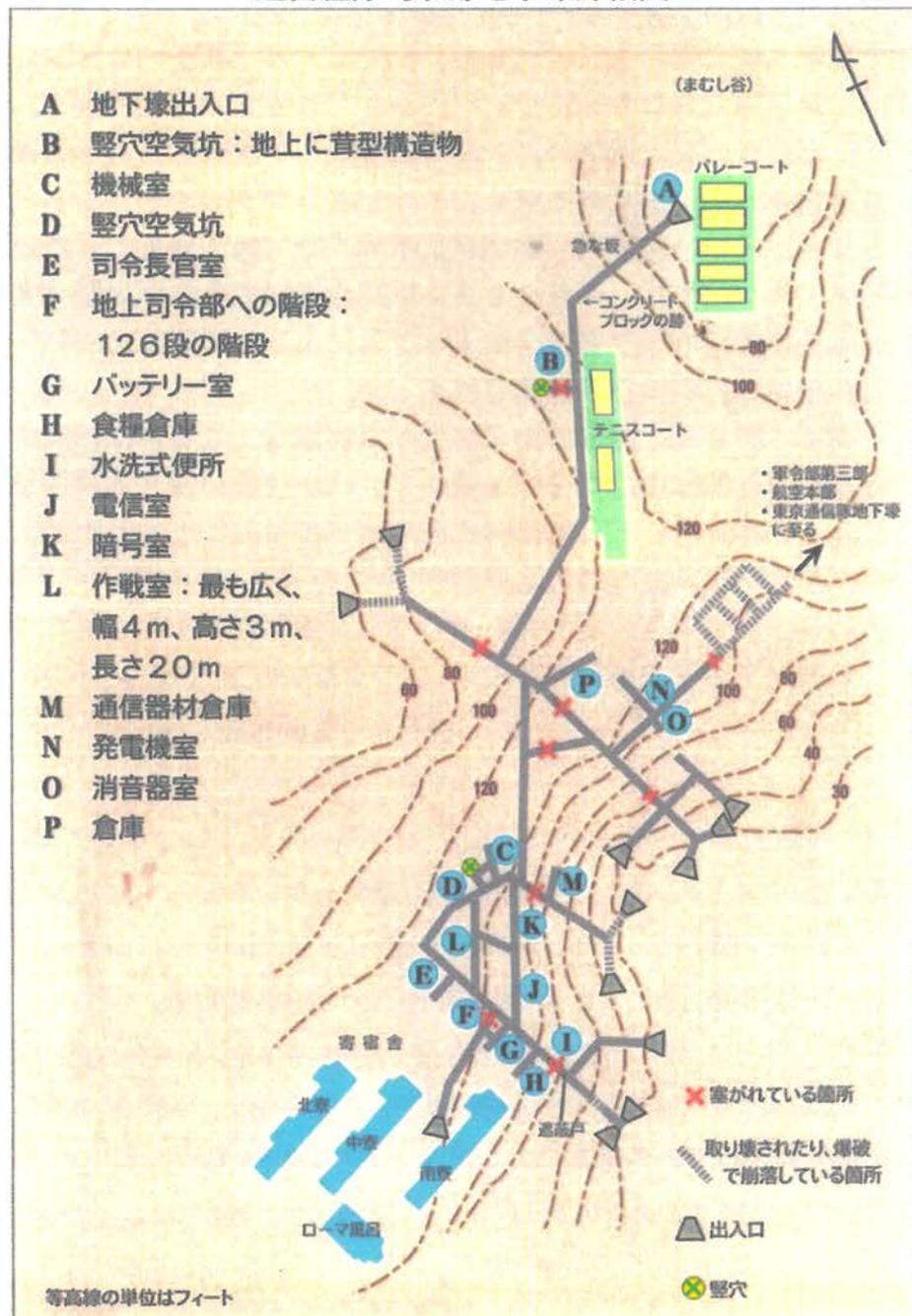


(2) 見学の状況・壕内の説明など

私達のグループの参加者は11時15分に東横線日吉駅に集合し、慶應義塾大学の学内食堂で昼食をとり、その後「日吉台地下壕保存の会」(以下「保存の会」)の先導・案内で総勢約50名が地下壕の見学に向かいました。当日の参加者は男女各半数程度、私達を含めてほとんどが高齢者でした。

地下壕の詳細を下に示します。なお、壕内を含む慶應義塾大学キャンパス内の撮影は許されましたが、撮影した写真の「配布物による公開」は禁止されて居ましたので、以下の写真・図面は、最後の物(参加者の写真)を除き、「保存の会」の小冊子のコピーです。

連合艦隊司令部地下壕詳細図



柳田の歩数計の記録から、大学構内の地上部を含めて、この見学中に歩いた歩数は約7,000歩程度と思われます。見学した壕内は傾斜しているところや、漏水しているところがありました。見学した個所はすべてコンクリートが巻かれて居ましたが、現在の物と比較すれば決して良質のコンクリートとは言えません。勿論、すべて機械を使わない手掘りのように見えました。

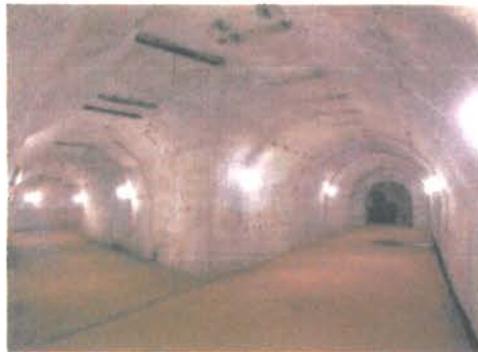
ここは日吉台と言われるとおりの「台地」ですので、掘削中に大出水があった、断層に当たった、温泉が噴き出した、とか言うことは無かったでしょう。排出した土を捨てた場所は説明されませんでした。膨大な量の排土が出たと思われ



地下壕の出入口

れます。左上の写真は、見学者が入る地下壕の入口です。通常は閉鎖されています。入口左右のブロックは現代の物ですが、入口上部の積石は当時のものです。壕内の照明は暗く、懐中電灯が頼りです。

左中の写真は、壕内の写真です。天井の灯具は蛍光灯だったように見えます。壕内通路にマンホールのふたのようなものがありましたが、水洗トイレもあったそうですから、下水管に相当する物もあったのでしょうか。



地下作戦室（左は暗号室・電信室への通路）

壕内の高さが日本人の身長に比べて高いと感じましたが、通信機、発電機等かなりの大型の機器が搬入されたと思われ

ます。この写真は非常にきれいに写されているように思います。実物は勿論暗く、壁は汚れています。

左下の写真は、上の「詳細図」のBの地上にある堅坑の蓋です。空気抜きが目的ですが、被弾しても空気抜きが出来るよう、耐弾構造です。



耐弾式堅坑

慶應義塾大学日吉キャンパスは、終戦後も1945年9月から1949年10月まで、4年間米軍に接収されて居ました。この間米軍はこの壕に対して、破壊・埋戻しなどを行わなかったため、貴重な戦争遺跡が残っているわけですが、破壊する意味もなかったのかも知れません。米兵得意の落書きは見つかりませんでした（消えてしまったのか）

1 ページの配置図に示すように、日吉駅の反対側には艦政本部の壕が計画さ

れ、連合艦隊司令部の壕に遅れて1945年1月に着工し、延長2,400m以上あるそうですが、移転予定が8月15日の終戦の日だったので、使われることはありませんでした。この艦政本部地下壕は部分的に埋め戻され、現在は出入り口が閉鎖され、内部の見学は出来ません。

参考：連合艦隊最後の旗艦「大淀」

連合艦隊最後の旗艦であった「大淀」に関して調べてみました。

大淀は1941年2月に起工、1943年2月に竣工した、基準排水量約8,000トン、満載排水量約11,000トン、公試速力18.282ノットの二等巡洋艦です。

戦争の激化から、第一戦隊の戦艦を連合艦隊旗艦として後方に配置する無駄を除くために、潜水戦隊旗艦として設計された大淀を改装して1944年5月に連合艦隊旗艦としました。しかし前述のように同じ年の9月に司令部は日吉に移り、旗艦としての任務は僅か4ヶ月で終わりました。

10月20日、大淀は第三艦隊第一機動部隊の第三十一戦隊の旗艦兼艦隊予備旗艦（艦隊旗艦は空母「瑞鶴」）としてレイテ沖海戦に参加、海戦後10月27日に奄美大島に帰投しています。その後、フィリピン方面を転戦し1945年2月20日に呉に帰港しました。

7月28日のアメリカ軍艦載機による呉軍港空襲により被爆し右に横転しました。終戦後大淀は旧呉海軍工廠で解体が始まり、1948年8月に解体が完了し、数奇な一生を終えました。

（この項は Wikipedia などを参考にしました）

参加者の写真：

見学開始前のスナップ。左から、柳田、吉識、松野、犬木（杉本撮影）。



次ページは見学終了後日吉駅前の店での一息。左から吉識、柳田、杉本、松野、犬木です。松野は「白髪の翁」になりました。吉識・犬木は相変わらず真面目そうです。



後記：晴天に恵まれ、無事に見学を終えました。ところで、この文を作っていると、至る所で「漢字変換」に苦勞しました。「旗艦」などは死語ですね。「キカン」と入力すると「器官」が最初に出てくるのは、老々看病のせいでしょうか？

次の行事はすでにご連絡の通り、12月10日（木）午後、上野のJR上野駅から徒歩2分の且妃楼飯店（ダンヒロウハンテン）での忘年会です。カレンダーに大きく書いて置いて日時を間違えぬようにして、集まって歓談しましょう。

以上：幹事 杉本・柳田（文責 柳田）

参考資料；「戦争遺跡を歩く 日吉」日吉台地下壕保存の会編

同期会NEWS

2015年12月吉日

2015年の年末に当たって、本年を総括する意味で「同期会NEWS」をお届け致します。2015年はこれまでに報告しましたように、4月3日に湯河原で観桜会、5月18日・19日に群馬で懇親宿泊旅行、10月24日に横浜市港北区日吉の日吉地下壕の見学会を行いました。12月10日の忘年会の詳細は、別項に示します。

訃報

石井勉兄が2015年10月1日朝ご逝去されました（享年80）
石井兄は9月28日の午後、神田如水会館で故郷富山の友人と大好きな囲碁を打ちに出られ、その夕方帰宅途中の地下鉄新橋駅で具合が悪くなり、JR新宿病院に搬送されました。夕刻7時半頃には、ご自宅に帰られました。翌日市民病院に救急搬送され、3日後に亡くなりました。

11月22日横浜港から船で散骨のご予定と伺いました。（以上 ご令室からのご連絡に基づいて作成しました）

ご令室から「長いこと彼の青春時代を共にした横浜のご友人の皆様に、感謝申し上げます」とのご挨拶を頂きました。

2. 27年忘年会

12月10日（木）27年の忘年会を行いました。

場所・内容：東京上野公園 且妃楼（たんひろう）で創作中華料理

参加者：犬木、小田、上条、小林、杉本、浜田、福井、松野、柳田、柳原、吉識
（敬称略・五十音順） 計11名

写真：（敬称略）前列左から：小田、上条、柳原、小林

後列左から：杉本、福井、浜田、柳田、吉識、松野、犬木



宴中のスナップ



宴の後

前列左から：小田、上条、柳原、小林

後列左から：杉本、福井、浜田、杉本、犬木、柳田、吉識

この後、犬木、杉本、松野、柳田が銀座で二次会をしました。

3. 諸兄の消息

幹事が頂いた近況連絡、忘年会出欠のハガキなどから諸兄の消息・近況などを判る範囲で載せます。(以下敬称略)

上原：転居しました

小田：体調が少々悪い。今年中はゴルフも止めています。

上条：椎間板ヘルニアで苦しんでいるが、動けなくなるまでゴルフはやるつもり。

建部：小生脚が言うことをきかず、入院している始末です。そんな理由で今回は欠席します。諸兄によろしくお伝え下さい。

広瀬：東京はちと遠いので欠席と致します。日吉台地下壕の記事、面白く拝読いたしました。長野県松代にも巨大な地下壕があり、朝鮮人を酷使してバカバカしい作業を大真面目にやりました。天皇を疎開させて本土決戦をやろうと考えていたらしいです。東京で市街戦をやって100万からの都民が死んでも大日本帝国は続いていくと考えていたのでしょうか。私も小学生のとき、早く兵隊になって死ね、と言われました。あーあー。

- ・秋深く腰をさすりつ散歩する
- ・ガリガリと奥までけずる歯医者かな
- ・散歩道ふとかたわらに紅葉かな (風来山人作)

4. 28年の行事

忘年会の席上、28年の行事について幹事から提案があり、話し合い、席上出た希望を含めて、幹事に任せることに決まりました。

(1) 観桜行事

実施時期は桜の開花に合わせますが、東京で観桜の集いをします。場所は皇居、六義園等が候補に挙がって居ます。混雑しない場所・曜日を選びます。

(2) 懇親宿泊旅行

従来、目的地は関東地区が殆どでしたが、関西・中京地区の諸兄の参加が便利になるように、浜松周辺が提案されています。コースは一日目の午後にホテルに集合し、夜は出来るだけホテル内のレストランで夕食・懇談し、二日目は観光旅行をします。実施は5月中旬とします。

(3) 見学会

JAXAの関連施設を見学したいとの希望があるので、幹事で調査します。実施は10月頃とします。

(4) 忘年会

今年使った且妃楼が大方の諸兄に好評だったので、28年も同じ場所・要領で恒例に従い、12月上旬の木曜日(12月8日が第一候補)に実施したいと考えます。

以上 幹事 杉本・柳田 (作成担当 柳田)

直近（2016年・2017年）の忘年会の写真



2016年忘年会（田町 番外地）（2016.12.12）



2017年忘年会（横浜駅西口付近 三間堂）（2017.12.16）



2017 年忘年会のスナップ